

FS200 手順: JPEG ファイルをマージ してフォト小冊子を印 刷する



FS200 手順: JPEG ファイルをマージしてフォト小冊子を印刷する

機能概要

Fiery® Hot Folders はドラッグ&ドロップや Print-to-file（ファイルへ出力）を使用して印刷ファイルを Fiery サーバーに自動送信します。Hot Folders 用に設計されたエキスパート レベルのフィルターは Graphic Arts Package, Premium Edition に含まれています。これらのフィルターを使用すると、ネイティブ ファイル形式でアプリケーションを開くことなくジョブを送信できます。このワークフローでは、ジョブは PPD の上書き、面付け属性、ファイル形式の変換などのジョブ チケットの指示とともに Fiery サーバーに送信されます。フィルターには、JPEG、CT/LW、TIFF/IT、EPS、PS、PDF、DCS2、1-bit TIFF、PDF2Go、ExportPS などがあります。

Fiery Hot Folders は JPEG、PDF、TIFF ファイルを同じフォルダーからマージできます。この機能では同じファイル形式の複数のファイルを 1 つのファイルにマージして、面付けや仕上げなどの設定をすべてのファイルにまとめて適用できます。

ゴール

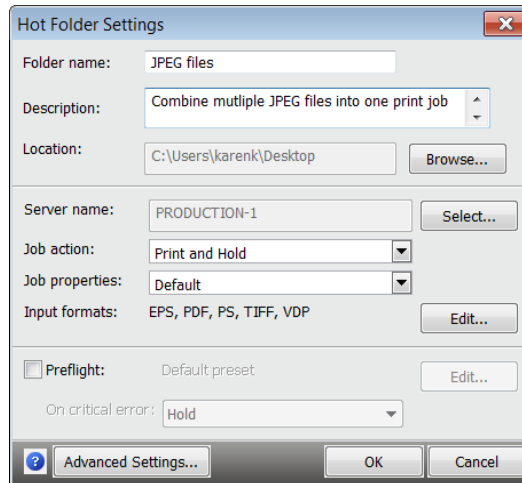
- 新しい Hot Folder を作成する
- ジョブのプロパティを設定する
- 入力形式を指定する
- 自動プリフライトを有効にする
- JPEG ファイルを含むフォルダーを送信する
- マージされた JPEG ファイルをプレビューする

その他のリソース

その他のソフトウェア ダウンロードやトレーニング リソースについては、[Fiery オンライン リソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 5.7（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS200/FS200 Pro またはそれ以降を実行する少なくとも 1 つの Fiery サーバーに接続します。
- FS200 用の Fiery Productivity Package と FS200 Pro 用の Graphic Arts Package, Premium Edition をアクティベートします。
- Windows® または Macintosh® コンピューターで Fiery Hot Folders アプリケーションをアクティベートして起動します。
- サンプル ファイル フォルダー **FGS_photobooklet** を後で使用するときによりわかりやすい場所に置きます。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。

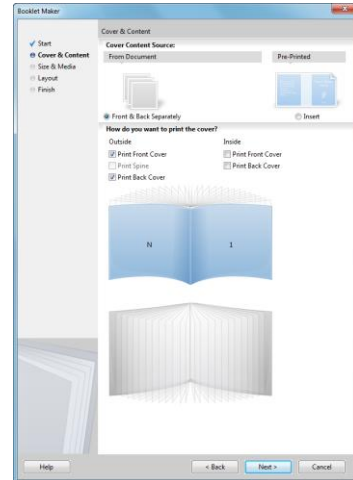
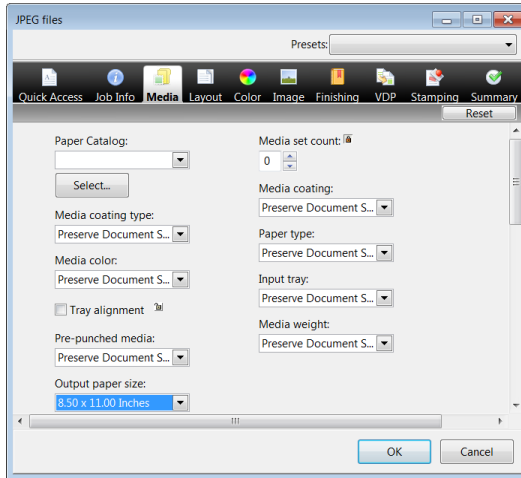


新しい Fiery Hot Folder を作成する

1. Fiery Hot Folders を起動します。
2. ツールバーの「新規」アイコンをクリックします。
3. 新しいフォルダーの名前を入力します。たとえば、**JPEG files** と入力します。
4. 「説明」フィールドにはホット フォルダーに関する追加情報を入力します。ドキュメントの出力についてできるだけ詳細に記入してください。
5. 「場所」フィールドには新しい Hot Folder のデフォルトの場所が表示されています。場所を変更するには「参照」をクリックします。この演習では、デフォルトの場所（デスクトップ）を使用します。
6. 「選択」をクリックして Fiery サーバーを選択します。
7. 「サーバーに接続」ウィンドウが開いたら、「検索」アイコン（虫眼鏡）を使ってネットワーク上の Fiery サーバーを探します。Hot Folders を使用して送信されるジョブを受け取る Fiery サーバーを選択して「接続」をクリックします。

Fiery server が別の TCP/IP サブネット上にある場合は「検索」メニューで「サブネット」または「IP 範囲」のいずれかを選択してローカル TCP/IP サブネット以外の場所も検索できるようにします。

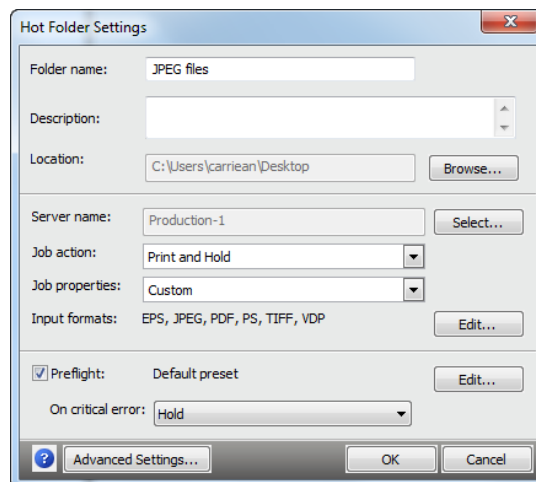
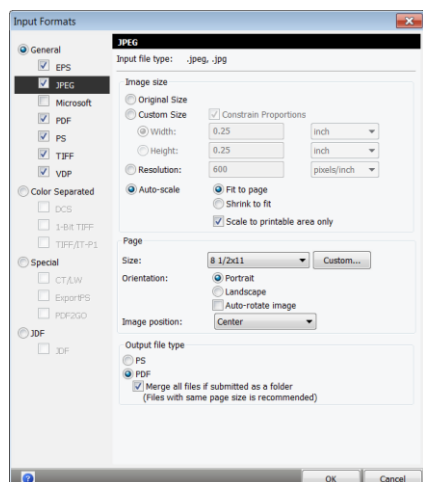
8. 「ジョブアクション」を割り当てます。この演習では「印刷後待機」を選択します。
9. 次のセクションでは、Hot Folder のジョブのプロパティを定義する方法について扱います。



ジョブのプロパティを定義する

1. 「ジョブのプロパティ」で、「定義」をクリックします。
2. 「ジョブのプロパティ」ウィンドウが開いたら、「用紙」アイコンをクリックしてワークフローの用紙設定を指定します。この演習では、「出力用紙サイズ」で「8 ½ x 11」または「A4」を選択します。
3. 「レイアウト」アイコンをクリックします。次に、「製本」をクリックします。
4. 「ウィザード起動」をクリックし、Booklet Maker ウィザードを開きます。
5. 作成する「製本タイプ」を選択します。この演習では、「中とじ」、製本には「左」を選択してください。「次へ」をクリックして続行します。
6. 「表紙内容ソース」の「書類内」で「おもてと裏を別に印刷」をクリックします。
7. 外側の表紙には、「おもて表紙印刷」と「裏表紙印刷」チェック ボックスをクリックします。内側の表紙には、「おもて表紙印刷」と「裏表紙印刷」チェック ボックスをクリックします。「次へ」をクリックして続行します。
8. 「サイズおよび用紙」で本文の用紙サイズを選択します。この演習では「11x17」または「A3」を選択してください。「次へ」をクリックして続行してください。
9. 「レイアウト」で本文の位置を選択します。「センター」をクリックして「次へ」をクリックします。
10. 設定内容の概要を確認し、「終了」をクリックして Booklet Maker ウィザードを閉じます。
11. 「仕上げ」アイコンをクリックして「折り」、「ステープラー」、「折り順」、「出力オプション」を指定して、折り目のあるステープルで止められた小冊子を作成します。プリンターによって仕上げオプションは異なりますので、選択可能な仕上げオプションで製本します。
12. 「エキスパートカラー」などその他の設定を指定します。
13. 完了したら、「OK」をクリックします。
14. 次のセクションでは入力形式を指定します。

FS200 手順: JPEG ファイルをマージしてフォト小冊子を印刷する



入力形式を指定する

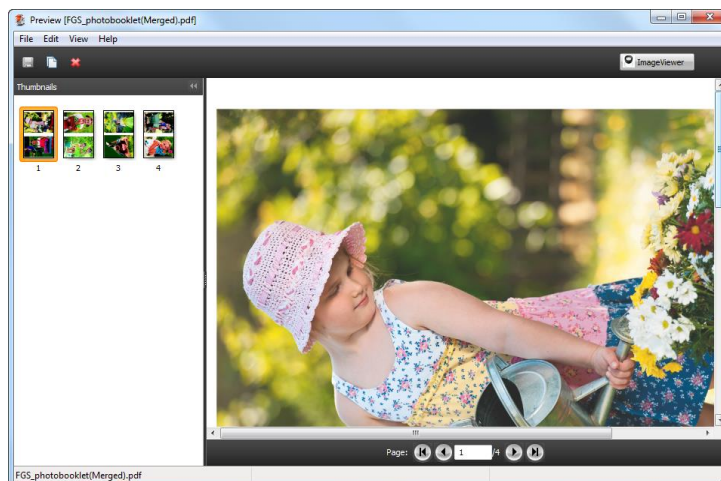
1. 「入力形式」で「**編集**」をクリックします。
2. 「一般」をクリックして「**JPEG**」チェック ボックスを選択します。
3. 「画像サイズ」領域で、「**自動拡大縮小**」と「**ページにあわせる**」をクリックします。
4. 「印刷可能範囲のみにあわせる」チェック ボックスを選択します。
5. 「ページ」領域で、次のオプションを設定します。
 - a. サイズ: **レター** または **A4**
 - b. 方向: **縦向き**
 - c. 画像位置: **センター**
6. 「出力ファイル形式」領域で「**PDF**」をクリックして「**フォルダの場合全ファイルをマージする**」チェック ボックスを選択してフォルダー内のすべての JPEG ファイルを使用して 1 つの PDF を作成します。
7. 「**OK**」をクリックすると入力形式が Hot Folder に適用されます。

自動プリフライトを有効にする

1. 「**プリフライト**」チェック ボックスを選択します。デフォルトのプリセットを変更する場合は「**編集**」をクリックします。
2. 「重大エラー発生の場合」オプションで「**待機**」を選択します。
3. 「**OK**」をクリックするとすべての設定が Hot Folder に適用されます。「Fiery Hot Folder コンソール」を閉じます。

JPEG ファイルを含むフォルダーを送信する

1. Fiery Hot Folders を実行しているコンピューターで **FGS_photobooklet** フォルダーを検索して選択します。
2. 右クリックして「**ホットフォルダにダウンロード**」を選択します。作成した Hot Folder を選択するか、**FGS_photobooklet** フォルダーを Hot Folder の **JPEG files** にドラッグします。
3. フォルダー内の JPEG ファイルが 1 つの PDF ファイルに変換され、選択されているジョブのプロパティ設定で Fiery サーバーに送信されます。これで、中とじ製本の小冊子が作成できます。



マージされた JPEG ファイルをプレビューする

PDF のファイル名は送信されたフォルダー名にもとづいて自動的に作成されます。

1. Command WorkStation の待機リストで **FGS_photobooklet (Merged)** ジョブを選択します。ジョブを右クリックし、「プレビュー」を選択するかツールバーの「プレビュー」アイコンをクリックします。
2. 「プレビュー」ウィンドウが開き、ページごとにおもてと裏側の 2 つのイメージがサムネイルプレビューに表示されます。
3. プレビューが完了したらプレビュー ウィンドウを閉じます。

EFIはお客さまのビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：<http://www.efi.co.jp>まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, Best, the Best logo, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, DockNet, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, Fabrivu, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, InktenSity, Inkware, Jetrion, the Jetrion logo, LapNet, Logic, MiniNet, Monarch, MicroPress, OneFlow, Pace, PhotoXposure, Printcafe, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Rastek, the Rastek logo, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincrolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.